

校訓

自律・気魄・端正



校章の由来

昭和23年5月10日制定。

国分舞鶴城跡（本校の第一グラウンド）に、青空高く飛翔しようとする鶴を形象化したものである。制作者は制定当時の本校職員花房義明氏である。

袖章について



女子は、制服の袖にこのマークをつけている。国分の頭文字Kを向かい合わせて図案化したもので、

当時の本校職員大嵩禮造氏（昭和37.4~42.3）の制作によるものである。

学年章について



学年・組を示すバッジで、男子は制服の襟に、女子は胸ポケットの上に着用する。

デザインは袖章と同じ大嵩禮造氏で、国分の頭文字Kの上に組を示す数字を配している。平成5年度より校章を配したデザインにした。地色は学年によって次のように定められている。

- 1年…黄（純真）
- 2年…赤（情熱）
- 3年…青（清楚）

校歌

西川伝毅 作詞
武田恵喜秀 作曲

♩ = 112

あ か ー ね ぐ も ー そ ら に な が れ
て こ く ー ぶ ん じ ー せ い な
る ほ と り わ こ う ど ら ひ
と み か ー が や き い や は て の し
ん り き わ む と こ こ に つ ど へ る あ
あ ひ か り あ れ や こ く ぶ こ う こ う

- | | | |
|---|--|---|
| 一、
茜雲 空に流れて
国分寺 聖なるほたり
若人ら 眸かがやき
いや涯の 真理究むと
ここに 集へる
ああ 光あれや
国分高校 | 二、
舞鶴城 光溢れて
花と咲く 清き友垣
若人ら 血潮たぎりて
かくわしき 情の文を
ここに 織りなす
ああ 栄あれや
国分高校 | 三、
歌声を みに空に充てよ
生命の 歓び乗せて
若人ら 想ひはるけく
人生の 尊きいと なみ
ここに 創むる
ああ 力あれや
国分高校 |
|---|--|---|

校歌の由来

昭和30年2月23日制定

『生徒会誌 舞鶴』に発表されていた『若人の歌』を校歌として制定したものである。

作者（第2代《昭和25年4月1日~昭和32年3月31日》校長・西川伝毅）によると、『私が国分高校生に寄せていた愛情、願い、祈りをこめて作ったものである』（創立50周年記念誌『あの頃』）という。